

大会 取りかると和同

市高 人権新聞

**第1号 6月**発行所 徳島市北沖洲1丁目15番60号
市 高 人 権 委 員 会
市高 人 権 新 聞 社 2017

かるた大会優勝者！

六月八日(木)、柔・剣道場にて同和かるた取り大会が開催されました。実習生も加わり、白熱した闘いとなりました。

総勢六十四名の頂点にたったのは、三〇一HRの井内青空(いうちせいら)さん。何と昨年に引き続き連覇です。準優勝は、三〇八HRの加藤彰人(かとうあきひと)さん。三位は、二〇一HRの岩本睦月(いわもとむつき)さんでした。



LGBT→SOGI

LGBTがようやく世間に浸透してきたと思いはじめた今日この頃、国際的にはSOGIという言葉が使われ始めました。

ちなみにLGBTとは、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーの頭文字をつないだもので、日本ではセクシュアル・マイノリティの総称として使われています。

一方、SOGIはSOでセクシュアルオリエンテーション(性的指向)を表し、GIでジェンダーアイデンティティー(性自認)を表します。

さて、LGBTという言葉の普及によりセクシュアル・マイノリティの存在が可視化され、認知が広がってきました。各メディアでも、いわゆる当事者を目にしない日はありません。その一方で、性的マイノリティのカテゴリーには、L・G・B・T以外にもいろいろあるという指摘や、LGBの3つは性的指向に関わり、Tは性自認に関わる一括りにするには、概念が違っているという指摘がありました。

しかしLGBTという言葉の最大の懸念は、さき述べた指摘ではなく、非LGBTとされる側が自分自

身を問い返すことなく、自分の外部に「LGBT」という人たちをくり出し、外在的にそれを「受け入れよう」という形になることなのです。つまりLGBTの人たちとLGBTでない自分、という二項対立の関係ではなく、SOGIという性的指向と性自認の多様な性のなかのどこかに、すべての人間が存在するという視点のほうが、より平等ではないでしょうか。

SOとGIはすべての人について考えることができるとの概念です。GIにおいて、トランスジェンダーは数が多い。SOにおいて、異性指向が多数だが、同性指向や両性指向、無指向は少数だ。自分はどこに位置しているだろうか。

さて、人権に関わる言葉は時代と共にコロコロと形を変えます。私の短い人生の中だけでも、多くの言葉が言い換えられたり、平仮名になったりしました。もはや理由のわからないもの、納得できないものもありましたが、表面的な文字としての問題ではなく、その真意を考える努力を怠ってはいらないと思っています。

人権教育主事

人権新聞によせて

人権委員長

今年度の人権委員長を務めさせていただきまます寺田歩です。

みなさんは「人権」という言葉の意味を知っていますか？「人権」とは、人間が生まれ持っている生命・自由・平等に関する権利を意味します。現在、人権にまつわる情勢は様々で、その人権が侵害されることによる人権問題は存在しています。

これらの問題が多発する世の中は「良い世の中」と言えるでしょうか。決してそうは思えません。学校での人権ホームルームや講演会、私たち人権委員会が主催する同和かるた取り大会・人権新聞・人権展等を通して、人権に対する自分の意見や考え方をもち、人権問題について向き合っていくと思えます。



▼五月三十一日は世界禁煙デーだった。日本政府は二〇二〇年の東京五輪・パラリンピックに向けて、他人が吸うたばこの煙を吸い込む「受動喫煙」の防止策を強化する法改正を目指しているようだ▼先駆けて、全国の自治体では新しく条例を施行する動きもあり、すでに神奈川県と兵庫県は受動喫煙防止条例を施行している▼ある自治体条例案の原案では、多くの人が出入りする施設のうち、医療施設や小中高校などは敷地内を禁煙に、官庁やその他の公共施設、商業施設などは施設内を禁煙とする。飲食店・分煙などを店外に表示するよう求めるようだ。また、たばこを吸う人に「受動喫煙」を生じさせないよう配慮義務を課すことも明記。これは先行自治体にはない内容という。罰則については、意見集約に時間がかかるため見送るそうだ▼しかし世の流れとはいえ、喫煙者には耳の痛い話である。じわじわと真綿で首を絞められるかのように、今まで当たり前だった権利が失われていく。環境・健康、人の欲求は留まるところを知らないが、人の権利は良くも悪くも誰かの権利を制限するのである。ちなみに私は、タバコは吸えない。

人権教育主事